

科目名 (科目番号)	在宅障害者の 理学療法 (064711)	教員名	渡邊 昌宏 他	学科等	理学療法	選択	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				オフィスアワー			渡邊研究室	
授業概要	医療は病院から地域・在宅へ移行してきており、在宅障がい者への理学療法の需要が高くなっている。本講では在宅障がい者の身体機能・心理変化・環境因子などを踏まえ、障がい者が在宅生活を維持するために必要な理学療法士の役割と他職種との連携について学ぶ。また、具体的な在宅障がい者を提示し理学療法士としてのアプローチ方法を学ぶ。							
準備学習	臨床実習Ⅱで評価をするための評価項目の学習と復習をしておく。							
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標					
	1	医療・介護保険と理学療法	学習内容:在宅障がい者に関する保険について学習する。 到達目標:理学療法を受けるための保険について学び理学療法士の役割を理解する。					
	2	社会的孤立と孤独感に対する リハビリテーション	学習内容:障害による孤独について学習する。 到達目標:障害によって引き起こされる障がい者の孤立と孤独とその対応に関して理解する。					
	3	外来・通所リハビリテーション	学習内容:地域で必要とされる理学療法士の職域を学ぶ。 到達目標:外来・通所の症例を提示し具体的な理学療法の展開方法を理解する。					
	4	訪問リハビリテーション	学習内容:地域で必要とされる理学療法士の職域を学ぶ。 到達目標:訪問の症例を提示し具体的な理学療法の展開方法を理解する。					
	5	介護予防・健康増進	学習内容:予防理学療法について学ぶ。 到達目標:認知機能、転倒、関節痛、呼吸器疾患等に対する予防的理学療法を理解する。					
	6	終末期リハビリテーション	学習内容:終末期の理学療法について学ぶ。 到達目標:自立が望めず意識すら不確かな人々に対する理学療法の意義を理解する。					
	7	リハビリテーションの実際①	学習内容:在宅障がい者の理学療法について学ぶ。 到達目標:提示された症例情報をもとに、症例の方向性、理学療法の介入方法を報告できる。					
	8	リハビリテーションの実際②	学習内容:在宅障がい者の理学療法について学ぶ。 到達目標:提示された症例情報をもとに、症例の方向性、理学療法の介入方法を発表できる。					
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
成績評価の方法・基準	発表(30%)＋レポート提出(70%)							
教科書	適宜資料を配付いたします。							
参考図書	理学療法フィールドノート 地域・在宅 新・芯から支える実践リハビリテーション心 理 実技・終末期リハビリテーション		南江堂 大田仁史 大田仁史 監修			内山靖 荘道社 荘道社		
教員からのメッセージ	必要性が高まっている在宅リハビリテーションに関する実践的な講義です。 評価実習でも必要とされる目標や予後について理解し考える能力を養います。 授業の進度、その他必要に応じて内容を変更することがあります。							